

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

51 Take Free.
2019.9



第2回
メディカルラリー参戦

病気のはなし「不整脈のはなし」

リハビリテーションだより「認知症について」

部署紹介[エムサービス(株)]／みすみ病院のできごと

外来医師一覧

[特集] 「済生会熊本福祉センター」を紹介します!

[お知らせ] 祝10周年「健康フェスタ2019」開催



社会福祉法人
恩賜財団
済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 庄野 弘幸

不整脈のはなし

済生会みすみ病院 院長／庄野弘幸

○ 動悸

循環器外来を訪れる患者さんの訴えで多いのが「動悸」です。「動悸がする」といっても様々な状況があります。例えば、「少し動いただけでドキドキする」「テレビを見てじっとしているときにドクンとした動悸を感じる」「普通にしていたのに急にドキドキしてきて苦しくなった」などと同じように「動悸がする」でもそれぞれ違っていることが多いのです。

動悸には大きくふたつの種類があります。「脈が速い」ものと、「心臓の拍動を強く感じるもの」です。

最近、100mを競争して走ることなどありませんが、信号やバスなどに間に合うように急いだとき、石段を頑張って登ったときには、胸はドキドキしますし、息もハーパーいいます。これも動悸ではありますが、これは病気ではありません。

貧血があると、少し動いただけで脈が速くなり動悸を感じることがあります。太っている人、運動不足の人(日頃、殆ど動かない人)、肺や心臓の病気を持っている人、甲状腺の病気を持っている人にも似たようなことが起こることがあります。

不整脈の病気の中には、じっとしているのに脈が速くなるものがあります。このような病気を「頻脈性不整脈」といいます。(脈が速い不整脈という意味です)

脈が速いかどうかは、自分で脈を触れてみて数えることができればわかりますが、自分で脈がわからないという方では、自動血圧計で血圧を測ってみると、血圧と同時に「脈拍数」が表示されるので、どれくらいの脈拍になっているのかを知ることができます。

一方、脈拍数は多くないのに、脈が一つ抜けてみたりするような不整脈があると、心臓の動きを強く感じる場合があります。脈に異常が無くても、心臓の動きをドクンドクンと強く感じる人もいます。自分の状態に不安があったりして、気にしすぎていると特に感じやすくなる場合があります。

○ ところで、脈拍数って、いくつが正常でしょうか？

脈拍数とは、1分間に脈をいくつ数えられるかという数字です。正常な大人では60から80程度と教科書に書いてあります。

しかしながら、先ほど言いましたように、走れば脈は速くなります。パールラインマラソンで走っているときの私の脈拍数は130程度になっています。きつい坂道では150くらい打っているはず。これは異常なんでしょうか？これは異常ではありません。正常の反応です。逆に眠っているときなどはどうでしょうか。脈が50しかなくてもやはり正常です。

マラソン選手などは、安静にしているときの脈拍は40程度しかない人もたくさんおられます。こ

の人達も病気ではありません。(もちろん、脈が遅いからと言ってペースメーカーを植え込んだりする必要もありません)

逆に、テレビを見てゆっくりしているときに、脈が150回になるのは異常なことです。階段を4階まで上るのに脈が40回しかないのも異常なことです。

このように状況に応じて脈拍数は変化するのが普通ですし、状況にあわないのは異常なことになります。

必要なときに脈が増えずに遅い脈のままのものを「徐脈性不整脈」といいます。(脈が遅い不整脈という意味です)

○ 治療が必要な不整脈の見つけ方

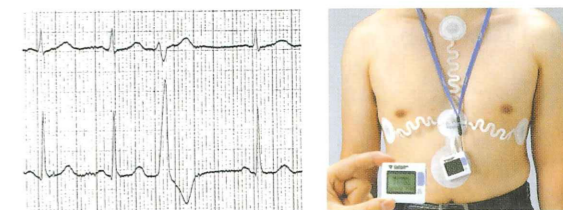
安静にしているのに急に脈が速くなる場合、息苦しくなったり、ぼーっとしたりといった症状もある人、動悸が治まる瞬間を自分で分かる人は、治療が必要な不整脈の可能性がります。脈が速くなっても、治まるのがいつの間にか、じわーっと改善している人は、心配なくていいことが多いです。

歩いている途中で意識をなくしたとか、テレビを見ているときに急に意識がなくなったような場合、歩いたり階段を上っても脈が50未満で増えなくてきつい人なども治療が必要な可能性があります。

病院に来院されたら、検査をします。検査には、採血、心電図、レントゲン、心エコーなどがあり、その他、不整脈の治療が必要かどうかでもっとも重要な検査が24時間心電図(ホルター心電図)があります。これは、小さな心電計を胸にテープではりつけて帰宅してもらい、普段と同じような生活をしていただいて、症状を感じたらその時間を書いておいてもらいます。翌日、

機械を外して、そこに記録されている心電図を解析し、症状のあった時刻の心電図にどのような異常があったのかを調べるものです。

例えば、意識がぼーっとした時刻に、脈が4秒程度止まっていたことがわかれば、ペースメーカーという機械を植え込むような治療を行うことで、ぼーっとする症状がなくなるようになります。また、急に脈が速くなる動悸があった時刻に、脈拍が160位の頻脈になっていたら、カテーテル治療の対象になることがあります。疾患によっては、この治療を行うことで、その後、一生、同じような不整脈が出なくなることもあるわけです。

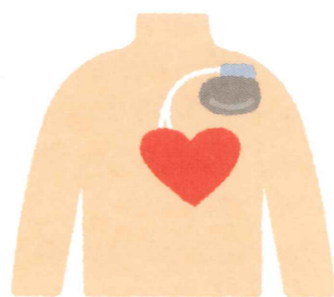


▲ホルター(24時間)心電図



○ ペースメーカーは遅い脈の治療

先ほど話したように、急に脈が数秒止まってしまふような人、動いても脈が40回しか打たない人などにペースメーカーという機械を植え込む治療があります。ペースメーカーは胸部の皮膚と肋骨の間に植え込んで、そこから心臓までリードと呼ばれる電線に当たるものを挿入するものです。手術は局所麻酔で行われ、1時間程度で終了します。



○ 突然死につながる不整脈に対する植え込み型除細動器 (ICDといいます)

最近では、殆どの大きな公共施設に、AEDという機械が置いてあるのをご存じでしょうか。

これは突然死につながる不整脈に対応するための自動除細動器というものです。そのような危険な不整脈が見つかった患者さんに使われるのが、植え込み型除細動器(ICD)です。形はペースメーカーにそっくりですが、役目は大きく違います。患者さんを突然死から救うための大切な機械です。



○ 頻脈性不整脈に対する「カテーテル治療」

息苦しくなったり、ぼーっとするような症状を伴う頻脈性不整脈、脳卒中の危険性が高くなる心房細動という不整脈などの治療として開発され、最近、どんどん進歩を遂げて、これらの不整脈に対する治療として確立されてきた治療法です。限られた病院での治療にはなりますが、今でもどんどん進歩しており、数年前よりも、より安全に、より確実に不整脈の治療ができるようになっていきます。

○ 心房細動では脳卒中の予防が大切

心房細動という不整脈があります。これは脈が速かったりちょっと遅くなったりと心臓の収縮がバラバラになる不整脈です。急に起こる場合には脈が速くなることが多いですが、時間の経過した慢性の患者さんでは、脈が速くならないこともあります。

心房細動という不整脈の困るところは、大きく二つです。

一つは、脳梗塞などの動脈が詰まる病気の原因になることです。(頭の動脈が詰まると脳梗塞、腎臓の動脈が詰まると腎梗塞、足の動脈に詰まると急性動脈塞栓症といい、いずれも重篤な病状になる可能性があります)みなさんご存じの巨人軍の長嶋監督は心房細動が原因で脳梗塞になった方です。元気にしているから大丈夫ではありません。急に脳梗塞になり手足やことばが不自由になる怖い病気です。十分な注意が必要です。

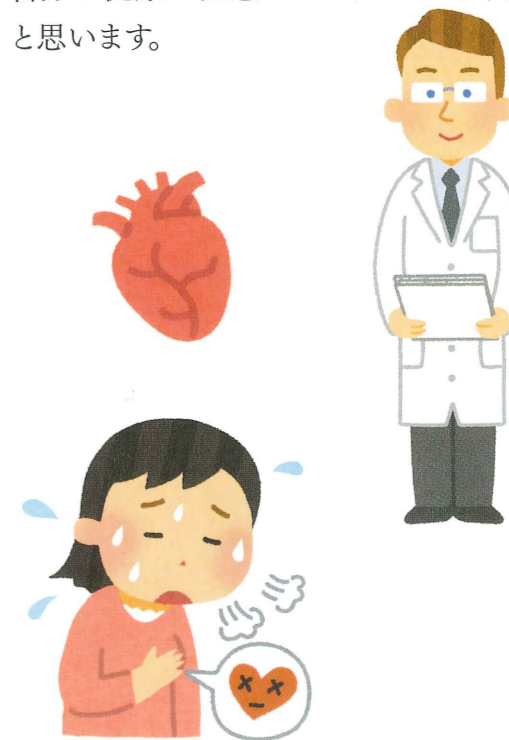
もうひとつは、心不全といって、心臓のポンプの働きが悪化して、息苦しくなってしまう病気になりやすくなることです。

先ほどお話したようにカテーテル治療で心房細動を治療するのが一つの治療法です。

脳梗塞の予防としては、血液を固まりにくくする薬(抗凝固薬)を内服していただくこととなります。以前はワーファリンという薬(納豆を食べないで下さいという薬)だけでした

が、今は、納豆を食べてもいい新しい抗凝固薬が発明されています。しかし、大事なことは、決められたようにしっかり毎日、薬を飲まなければ効果はないということです。薬を飲むのを忘れているということは、その間は薬の効果がなく、結果的に薬を忘れた日は脳梗塞になりやすくなっているということです。

心不全にも注意が必要です。なるべく心機能が低下しないようにするには、高血圧や糖尿病、脂質異常症、肥満などのコントロールをしっかり行うことが重要です。日頃から、かかりつけの先生とよく相談しながら自分の健康に注意していくのがいい方法だと思います。



リハビリテーションだより
認知症について

認知症とは



認知症の定義は、「記憶障害を主とし、遂行機能・複合的注意・学習と記憶・知覚運動・社会認知の1つまたは複数の領域において認知機能障害がある状態」とされています。

一度成熟した脳が、様々な原因により働きが悪くなり、これまで出来ていた当たり前の暮らしが難しくなるほど、わかる力(認知力)が低下した状態をさします。

認知症の進行に伴い、徐々に日常生活や人間関係に支障をきたすようになっていきます。高齢期の認知症のほとんどは変性疾患や脳血管疾患によるものといわれています。



認知症の種類

今のところ治療が難しい認知症を変性性認知症といい、その代表的なものがアルツハイマー型認知症です。その他の変性性認知症にはレビー小体型認知症や前頭側頭型認知症などがあります。

予防が可能とされる認知症もあり、脳血管性認知症などがそれにあたります。脳血管性認知症とは、脳梗塞や脳出血などが原因で生じる認知症です。

早期発見により治療が可能とされる認知症には、ビタミン欠乏症や脳炎、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症などがあります。

このように認知症には様々な種類が存在しますが、もっとも多く、よく知られている認知症がアルツハイマー型認知症になります。



認知症の症状

認知症の症状は、中核症状と、行動・心理症状の2つに分けられます。

中核症状

認知症のほぼ全例に認められる症状のことで、記憶障害、理解・判断力の障害、見当識障害、実行機能障害などをさします。これらの中核症状は認知症の進行に伴い進行し、増悪していくとされています。

行動・心理症状

(以下BPSD)は、性格や心理状態、周囲の環境などが影響し出現する症状をいいます。このBPSDは、うつ状態、幻覚や物取られ妄想などの精神症状と、徘徊や興奮、暴力などの行動症状の2つに分けられます。

BPSDは認知症患者の全例に認められるものではないこと、症状は出たり消えたりするという点が中核症状とは異なります。BPSDはそのときの心理状態や環境などが影響し、多彩な症状を出現させることから「心のSOSサイン」ともいわれています。



軽度認知障害(MCI)とは? /

年齢と比べ正常とは言えない認知機能低下があるものの、認知症の診断基準を満たさない状態を軽度認知障害(mild cognitive impairment:MCI)といいます。

MCIには各種の認知症疾患の前駆状態が含まれています。MCIと診断された人の半数以上に、その後アルツハイマー型認知症等への進行がみられた等の報告もあります。一方、MCIの状態に停滞したり、正常に戻る人もいます

MCIの危険因子には糖尿病、中年期の高血圧、脂質異常症、うつ、喫煙などが関与しているとされており、定期的な運動や、知的社会活動、教育、食事などにより、進行の抑制または改善が期待されています。

認知症になったら... /

「認知症はどうせ治らない病気だから医療機関に行っても仕方がない」という声が聞かれることもありますが、これは誤った考えです。認知症は早期診断・早期治療が非常に重要です。最も多いアルツハイマー型認知症では、薬剤で進行を遅らせることが可能とされています。早期治療を行うことで健康な時間をより長く保つことができるとされています。また、早い段階より少しずつ認知症に対する理解を深めていけば、生活上の障害が軽減でき、その後の様々なトラブルの軽減にもつながります。



認知症について

認知症の方との接し方

認知症の方と接する上ではいくつかのポイントがあります。

- まずは見守る
- 相手に視線を合わせてやさしい口調で
- 余裕をもって対応する
- 穏やかに、はっきりした滑舌で
- 声をかけるときは1対1で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
- 後ろから声をかけない

認知症の方はたえず不安な状態に陥っています。不安を助長してしまうと先述のBPSDなどの症状を悪化させてしまう場合もあります。そのため、認知症の方と接するときは相手の心情を理解し、やさしく穏やかに安心感を与えるように意識して接することがポイントです。「驚かせない」、「急がせない」、「自尊心を傷つけない」ことに配慮しながら接しましょう。



認知症の予防について

認知症の予防のポイントは、生活習慣病を予防することが重要とされています。生活習慣が乱れると高血圧や糖尿病、脳卒中などの発生リスクが高まります。それにより脳卒中などを発症し脳血管性認知症などに至る場合もあります。アルコールやタバコも危険因子とされています。また「閉じこもり」も認知症の発生リスクになるため、「身体や脳・心の活性化」が必要とされています。

定期的な運動の効果も期待されており、運動がアルツハイマー病のリスクを低下させるとの報告もされています。筋を動かすことで脳の前頭葉と呼ばれる部分が活性化し脳血流も増大します。また、自発的に楽しく運動することでさらに効果が高まります。頻度は週2〜3回の有酸素運動が推奨されており、運動を習慣化することで認知症の発生危険度が半減するとの報告もあります。

認知症の予防には「活動」も重要とされています。閉



じこもりなど、社会的接触頻度の乏しい人は、十分な人に比べ認知症発症の危険度が8倍高いと言われています。そのため、社会活動に積極的に参加することがすすめられています。加えて、知的活動への取り組みも認知症の予防に役立つとされているため、日記や家計簿をつけることや趣味を多く持つこと、ボランティア活動、料理なども認知症の予防として推奨されています。

認知症の予防として重要なことは、認知症の予防のために「何をしたらよいか」ではなく、「どう刺激ある日常を送るか」です。ですので、自分が好きなことややりがいを感じることを周囲の人たちとともに楽しみましょう。

現在、リハビリテーション分野では認知機能改善を目的に二重課題のエクササイズが注目されています。図は「国立長寿医療研究センターパンフレット」に紹介されている、二重課題エクササイズの1つです。ぜひ取り組んでみて下さい。この二重課題による運動の効果は、注意の配分・分割などの遂行機能を直接的に必要とし、主に脳の前頭前野と呼ばれる部位の活動を要します。この前頭前野の活動を促すことで、記憶を良好に保持できるようになるといった報告がされています。また、多人数で一緒に行くとより楽しく行えます。何事も「楽しく」行うことが認知症の予防において大切です。



国立長寿医療研究センターパンフレットより
<http://www.ncgg.go.jp/cgss/department/cre/documents/cogni.pdf>

SAISEIKAI
 MISUMI
 HOSPITAL
 さいごに

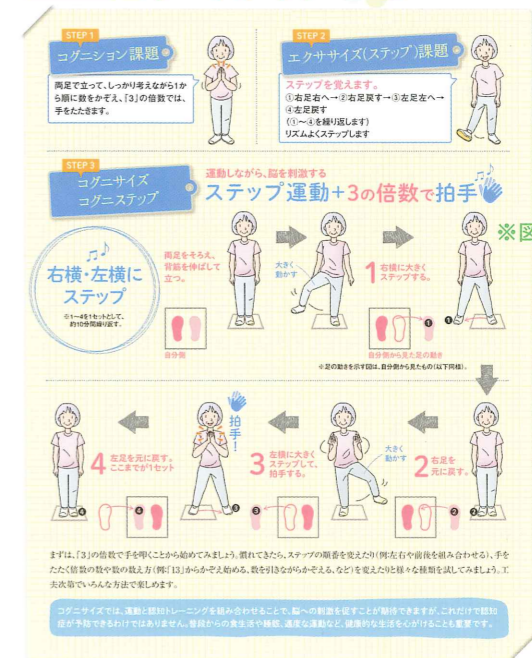
認知症は記憶障害のみならず精神的に患者本人や家族など周りの方たちを不安に追い込むこともあります。認知症は誰でもなる可能性がある脳の病気です。認知症になるということは、その人のすべてがなくなるわけではなく、人としての豊かさや素晴らしさは残ります。

私たちは認知症を「わからない病気」として捉えるのではなく、認知症は身近な病気であることを理解し、認知症は関わりかた次第で改善ができることを忘れずに向き合う必要があります。

認知症の方をみんなで支え合い、認知症があっても安心して暮らせる社会となると良いと思います。



エクササイズ コグニステップ





済生会熊本福祉センター外観

「済生会熊本福祉センター」を紹介します!

熊本県済生会には「済生会熊本病院」、「済生会みすみ病院」といった病院だけでなく、「済生会熊本福祉センター」という福祉に取り組んでいる施設があります。この福祉センターについてご紹介します。

済生会熊本福祉センターには現在9つの事業所があり、障がいのある方に対しライフステージに応じた支援を行っています。就学前の子どもたちへ生

活の自立のための支援、卒業後の生産活動や就労機会の提供、障がいのある方やご家族の相談や支援、福祉サービスが必要な矯正施設を退所した高齢者や障がい者への支援など、その範囲は多岐にわたります。

『福祉』とは幸福を意味する言葉だそうです。誰もが幸せな生活を送ることができるようにという使命を果たすため、福祉センターは取り組んでいます。

済生会熊本福祉センターの事業所

○ 済生会かがやき(多機能型事業所)

● 就労移行支援事業

就労や生活に必要な能力の向上を図り、就労を支援しています。

● 就労継続支援A型事業

雇用契約に基づき、就労の機会を提供して自立を支援しています。済生会熊本病院内で清掃事業を行っています。

● 就労継続支援B型事業

済生会熊本病院内で清掃やカフェ事業を行い、社会スキルが身につくよう支援しています。



▲かがやきカフェ

「済生会熊本福祉センター」を紹介します!

○ 済生会ほほえみ(多機能型事業所)

● 生活介護事業

日常生活の支援を中心に様々な活動を行っています。済生会熊本予防医療センターの健診セットの封筒づめなどを行っています。

● 就労継続支援B型事業

パン工房「ふわり」でパンや焼き菓子などを生地から作り、販売しています。



ふわりの看板▶

パン工房「ふわり」

毎週木曜日11:00~13:00
みすみ病院1階エレベーターホール前でパンの販売を行っています。また、手作りのクッキーや焼き菓子を詰めた「ギフトボックス」も各種販売しています。ぜひ、一度ご賞味ください。

↓ご注文はこちら↓

済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
TEL:096-223-3330 FAX:096-223-3429



▲ほほえみパン工場

○ 済生会ウイズ(多機能型事業所)

● 就労継続支援A型事業

雇用契約に基づき、就労の機会を提供して自立を支援しています。病院の寝具や白衣のクリーニングや福祉センター内の給食事業を行っています。

● 就労継続支援B型事業

市場から仕入れた野菜の下処理やクリーニングのたたみ作業を行い、知識や能力向上のための訓練を行っています。



▲アイロン台



▲仕入れられた野菜



▲ウイズクリーニング



▲食堂



▲クリーニング中の制服



「済生会熊本福祉センター」を紹介します！

○ 済生会グループホーム事業所

● 共同生活援助事業

地域の中で共同生活を行い、自立できるよう支援しています。

● 短期入所事業

家族が病気等の理由で支援が困難になった場合、一時的に宿泊サービスを提供しています。



▲グループホーム

○ 済生会なでしこ園
(児童発達支援センター)

障がいのある幼児に対し、日常生活における基本動作の獲得や生活の自立支援を行います。



▲なでしこ園

○ 済生会しらふじ子ども園
(幼保連携型認定子ども園)

0歳児から就学前の乳幼児を受け入れています。幼稚園と保育所両方の機能をあわせ持った施設です。

○ 熊本市障がい者
相談支援センターさいせい

障がいのある方が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう各種相談や必要な支援を行います。



▲相談支援さいせい

○ 済生会熊本福祉相談支援センター

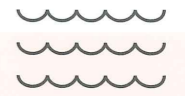
障がいのある方やご家族の相談に応じ、利用できる福祉サービスの紹介など必要な支援を行います。

○ 熊本県地域生活定着支援センター

矯正施設を退所した高齢者や障がいのある方へ、地域の中で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援を行います。



▲定着支援センター事務所



みすみ病院の
できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

2回目のメディカルラリー参戦！

7月20日(土)に済生会熊本病院主催の第2回メディカルラリーが開催されました。

メディカルラリーとは、1997年にチェコ共和国で始まった救急医療の判断や技術を競うコンテストで、日本では2002年に済生会千里病院(大阪府)で第1回が開催されています。内容は日常的な急病から集団災害などの特殊な事案まで、詳細なシナリオ設定に基づいた模擬の救急現場数件を医師・看護師・救急救命士によるチームで巡り、その活動・処置を点数化して競う競技会です。

今回も前回同様宇城広域連合消防本部から、是非みすみ病院とチームを結成して挑みたい!!との要請を受け、当院より町田医師、高巢看護師、岩永看護師と救命士3名の計6名で「チーム宇城」として参加してきました。

ラリー参加は全8チーム。どのチームも県内はもちろん、九州内で有名な3次救急病院がほとんどでした。当院には独立した救急部も無く、ましてや今回医師2名が条件の中、当院は1名と不利な状況ではありましたが、ラリー経験のある先輩救命士による指導のもと、2カ月に渡ってチーム活動の訓練を繰り返し行い、結果4位と言う成績を収めました。入賞には至りませんでした。結果はもちろん大満足。発表会



場では嬉し泣きして抱き合って喜びました。また同時開催で行われたフォトコンテストでは見事3位に入賞しました。

このラリーを通して、地元救急隊との関係がさらに深いものになったこと、心肺蘇生法などの質がより向上したことなど、嬉しいことは盛り沢山ですが、この成果を院内・地域に還元できてこそ、本当に実のある結果となります。それこそが、メディカルラリーの本質であると思います。

今回応援・協力いただいた、院内スタッフ・救急隊の皆様、本当にありがとうございました。大変良い経験が出来ました。

外来・手術室 貝川 玲子

部署紹介★

「済生会みすみ病院の食事は美味しい」と言っていたけように

2003年3月より、済生会みすみ病院の患者給食業務を受託し今年3月で17年目となります。男性スタッフ3名、女性スタッフ9名の計12名で運営にあたっています。平均で朝昼夕各100食前後の患者食と朝昼夕各2食の検食一日約336食の食事を、食中毒の発生と個人の体調管理には十分注意しながら調理しております。

患者さまの中には、嗜好による好き嫌いやアレルギーによる提供禁止の食材がありますので調理前にスタッフ間で確認を行い調理いたしております。

これからも少しでも多くの患者さまに、済生会みすみ病院の食事は美味しいと言っていたけように運営にあたります。

エームサービス(株)



今年も開催決定!!

- ばってん城次さんによる肥後にわかショー
- キッズチアショー
- 保育園児による体操&太鼓演奏
- 小中学生による吹奏楽やソーラン節の演舞
- 健康づくり講演会

ばってん荒川の遺志を引き継ぐばってん城次さんによる肥後にわかショー開催!

ステージイベント

みんなで遊ばいに来なばい!



ばってん城次さん



「stars」によるキッズチアショー

体験コーナー

この機会に先生へ色々聞いてみよう!

- 医療疑似体験
- なりきり写真撮影
- 手洗いチェック
- プチ健診 など



毎年恒例の豪華ステージイベントや
医師による健康づくり講演会、
体験コーナーや出店などもりだくさん!

祝10周年
済生会みすみ病院2019

健康フェスタ

平成から令和へ
～つなげよう健康の輪 広げよう地域の輪～

2019年10月20日(日)
10:00~15:00

会場 済生会みすみ病院内&屋外特設会場



職員一同
皆様のご来場を心より
お待ちしております!



※抽選券とスタンプラリーの用紙は当日の受付で配布いたします。

特別企画



手のひらサイズの
ミニドローンで遊ぼう



フェイスペイント de
HAPPY HALLOWEEN!

緑日・抽選会

ご来場の方に
抽選で素敵な
景品をプレゼント!!

お楽しみ抽選会

豪華景品!



大人気の
タピオカもあつよ!

緑日・出店

#みすみ病院

Instagramで
情報発信中!



過去の健康フェスタの様子



2019年9月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
脳神経内科	午前				済生会熊本病院医師 (2、4週)	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (隔週)				
消化器内科	午前	長島 不二夫	藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師	済生会熊本病院医師 (隔週)	
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前					
	午後					荒川 和也(2、4週)
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

休診のお知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください

患者さんの権利と義務

私たちは、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人

恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<http://sk-misumi.jp>

